

復職支援講習会Ⅱ

都技生涯研修

[重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。
 - ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
 - ② 学生
 - ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

[申込方法]

- ① 参加希望者は下記QRコード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。
ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>
- ② 上記オンライン申込をされますと登録されたメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。



申込用QR

[LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



都技LINE公式
アカウントQR

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail: togi-info@to-ginet.com

令和4年度

復職支援講習会Ⅰ

オンラインセミナー

総義歯スキルアップセミナー

若手技工士が成長できる 仕事の在り方

～ゴールを明確に！

管理された義歯作りは患者への貢献

歯科医師と歯科技工士との関わり合い！～

館 信昭 先生

(医療法人社団立靖会ひまわり歯科 院長)

近藤 太 先生

(株)近藤義歯研究所 代表取締役



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

令和4年 8月28日 日

入室 12:40

開始 13:00 → 終了 17:00

オンラインセミナー

定員 80名 参加費 無料

会場受講

定員 10名 参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室

東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

一般社団法人 東京都歯科技工士会



総義歯スキルアップセミナー 若手技工士が成長できる仕事の在り方

～ゴールを明確に！ 管理された義歯作りは患者への貢献 歯科医師と歯科技工士との関わり合い！～

歯科は患者へ貢献するために存在する。世の中には沢山の義歯患者が存在し、義歯だから仕方ないと半ばあきらめの気持ちもありながら、それでも希望を持って歯科へ通院し続けます。しかしなかなか良くなならない現実も否定できません。

自費の義歯製作はこの10年技術面で大きな変化を遂げております。個人トレーの在り方、咬合器マウントの在り方、ゴシックアーチトレーサーの在り方、フルバランスオクルージョンの意味など技術の成長と現在。

しかしながら技工士が技術だけに身を委ねる時代は終わり、今後技工士は患者とのコミュニケーションが必須となります。患者の主訴は歯科技工にも解決できる指示書にはない技工士目線の設計とは何か。

患者の本音は入れ歯が欲しいのではない。普通に食べたい、すなわち普通に嚥下できる機能回復を求められる時代です。義歯が入る入らないではなく、天然歯のように普通に嚥下できる義歯を目指して。



■講師略歴

館 信昭 [たてのぶあき]

略歴

- 2001年 北海道医療大学卒業
- 2001年 東京医科歯科大学高齢者歯科専攻生
- 2006年 医療法人社団立靖会ひまわり歯科院長



■講師略歴

近藤 太 [こんどう たい]

- (株)近藤義歯研究所代表取締役
- 1968年生まれ
- 東北歯科技工専門学校非常勤講師

略歴

- 1995年 近藤義歯技工研究所開設
- 2003年 NFKデンチャースタディーグループ設立
- 2004年 咬合器開発、山八歯材工業にて
- 2005年 相模原市南区西大沼に近藤義歯研究所移転
- 2006年 咬合器マウント湾曲排列治具「COMPSYSTEM」開発
- 2007年 (株)近藤義歯研究所法人化
海外講演：北京／上海／バンコク／トルコなど
- 2008年 歯科医師向け「咬合調整セミナー実習コース」スタート
- 2009年 リハビリデンチャー理論スタート
- 2015年 KGK患者導入セミナースタート
- 2016年 KGK咬合調整セミナー実習コース フルバランスオクルージョンスタート
- 2017年 KGKカウンセリングセミナースタート